

チーム医療論	3年・後期	1単位 45時間	講師 木部 和枝
科目カテゴリー	看護の統合	科目ナンバリング	34111043

1. 授業のねらい・概要

学生は、医療従事者に必須のチーム医療について、現代の医療において何故チーム医療が必要なのか、その意義、チーム医療の重要性を理解し、その関係性、チームにおける看護師の役割、現状と課題について理解と、実践に応用するための方法を考察することができる。

2. 学修の到達目標

1. チーム医療の概要と歴史が説明できる。(D-2)
2. チーム医療の構成員と看護師の役割について説明できる。(D-2)
3. 患者をとりまく療養環境が説明できる。(D-2)
4. チーム医療を支える職種の役割・協働について説明できる。(D-2)
5. 在宅ケアにおける多職種連携について説明できる。(D-3)
6. 保健医療チームとクリニカルパスについて説明できる。(D-2)
7. 保健医療チーム連携について説明できる。(D-3)
8. チーム医療の課題と展望について説明できる。(D-2)

3. 授業の進め方

テキストに基づいた講義を中心に進めるが、学生の主体的な取り組みができるように進めて行く。

【アクティブ・ラーニング実施の有無】

アクティブ・ラーニングとして、事前学習型授業グループワーク、リフレクション、レポートを用いる。

【ICT活用の有無】

ICT活用の実施：Classroom等による学習課題の提示、メールによる質問等の受付、web配信「ナースニングチャンネル」、DVDの活用等。

4. 授業計画（講義・演習）

回	授業内容	授業形態	事前事後学修（学修課題）	担当
1	チーム医療の概念と看護における実践 業務遂行のマネジメント (p4～30)	講義 演習	テキスト1（序章・第1編、第1章） を読んでおくこと。 復習：マネジメントのプロセスについて まとめておくこと。	木部和枝
2	多重課題への対応 (p32～46)	講義 演習	予習：テキスト1（第1編、第2章） を読んで、多重課題についてノートに 書きだしておくこと。 復習：多重課題への対応策をまとめて おくこと。	木部
3	看護師自身のマネジメント 看護師のキャリアマネジメント (p48～85)	講義 演習	予習：テキスト1（第2編）を読んで おくこと。 復習：現在における将来の自身の看護 師像をまとめておくこと。	木部
4	医療チームにおける看護マネジメ	講義	予習：テキスト1（第3編）を読んで	木部

	ントとクリニカルパス (p88～116)	演習	おくこと。 復習：クリニカルパスの特徴について まとめておくこと。	
5	看護マネジメントの実践 (p118～155)	講義 演習	予習：テキスト 1（第 4 編）を読んで おくこと。 復習：看護マネジメントの実践につい てまとめておくこと。	木部
6	地域医療における病院の理解とマ ネジメント (p158～172)	講義 演習	予習：テキスト 1（第 5 編）を読んで おくこと。 復習：地域医療について理解したこ とをまとめておくこと。	木部
7	保健医療チーム連携の実際（演 習）	講義 演習	予習：事例に基づき入院から在宅療養 生活までの看護師のマネジメントにつ いて、演習（グループワーク）を実施 するので、テキスト 1（3 編，5 編）を 読んでおくこと。 復習：演習後に他学生の事例のマネジ メントについて、自分が展開したマネ ジメントと比較して、追記する項目、 課題についてリフレクションを行いレ ポートにまとめること。	木部
8	チーム医療論まとめ 知識試験	講義 試験	予習：授業のまとめを読んでおくこ と。 復習：授業のまとめを整理しておくこ と。	木部

5. 成績評価の方法・基準

定期試験（受験資格は 3 分の 2 以上の出席した者）60%，課題レポート 40%で総合的に評価する。

ただし、どちらか一方でも合格基準（60%）に満たない場合には、単位認定できない。

定期試験の出題範囲は授業で取り扱った内容全てとする。

課題レポートの内容と提出日時は授業の中で提示する。

レポート提出が指定の期日に遅れた場合は 50%減点となる（1 週間以上の遅延は 0 点）。

総合評価が合格基準（60%）に満たない場合には、単位認定できない。評価対象物は、「2. 学修の到達目標」に示した達成状況を、ルーブリック評価表を基に、5 段階評価で採点する。尚、ルーブリック評価表に関する詳細は、第 1 回講義内で別途説明する。

6. テキスト・参考文献

テキスト：1) 高橋則子，小沢かおり，吉原章子他（2025） 看護の統合と実践①看護マネジメント
医療安全 メヂカルフレンド社.

2) 臺有桂，石田千絵，山下留理子 ナーシング・グラフィカ地域・在宅看護論(1)地域
療養を支えるケア（第 7 版） 株式会社メディカ出版.

参考文献：随時紹介する

7. 準備学習に必要な時間，又はそれに準じる程度の具体的な内容

シラバスの授業計画の範囲について最低 90 分以上の予習及び，授業内容について 90 分以上の復習を行うこと。

8. 受講上の留意事項

慢性期成人看護学実習，精神看護学実習の先修科目である。

日常的に新聞を読みニュースに触れるように心がけ，図書館を利用し文献や専門雑誌に目を通すこ

と。

遅刻，欠席ならびに授業中の私語，授業に関係ない言動（スマホの使用等）は慎むこと。
講義時間開始後の無断での教室の入室および退出は慎むこと。

9. 課題に対するフィードバックの方法

試験の解答は試験後に口頭にて解説する。

提出された課題は教員が確認して返却する。内容が不備なものは再提出を求める。

10. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

必修科目であり，修得できない場合進級不可となる。

11. 該当する本授業は，以下の実務経験を活かして実施される

医療機関における看護管理者としての実務経験を活かして，講義・演習を行う。